

登録コード	SS109500	開講年度	2026				
授業題目	研究者倫理特別講義					担当教員	米倉 真一
英文授業名	Practical theory of Tech Venture at Shinshu University					副担当	樋笠 知恵・片上 幸美
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 SSカリ				⇔	所属する研究室の技術・専門性などを活用して起業を行う場合の思考トレーニングを、実社会の最前線で活躍する起業家・ベンチャーファンド関係者からの経験・知見・アドバイス等を通じて習得する。	
	【研究科共通】 人類、社会の平和的・持続的発展のために、研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観						
(2)授業の概要	授業の概要 ・授業は「起業経験のあるゲスト講演」と「チーム単位のビジネスプラン作成」から構成されます。 ・技術力や知財の権利化、原材料調達や輸送、生産性、広告・市場展開、人件費、リスク管理等を総合的に含めたビジネスプランについては、まずはチーム単位で主体的に作成する事を求めますが、起業家・ベンチャーファンド関係者などの最前線で活躍する方から直接アドバイスを実施する予定です。 ・授業の最終日においては、チーム単位でのピッチコンテストを実施し、起業家・ベンチャーファンド関係者からの講評等を実施する予定です。 ・本授業では、チーム単位での、ビジネスアイディア等のディスカッション、プランの作成が含まれます。そのため、受講生がそれぞれ保有する研究領域・専門性に関連する課題意識やマーケット理解、それらを背景としたビジネスアイディアを持ち、意欲的に参加することを期待します。 ・本授業を受講する上での前提知識は求めませんが、講義への理解を深めるために、後述する参考書に事前に目を通しておくことが望ましいです。 ・本授業では、各自の技術や専門性、アイディアを事業化する経験を通じて、実社会での事業化や起業に繋げる実践的な考え方を習得することを目標としています。 ・なお、授業で取扱う研究内容は、既に公表されているもの、特許出願済みのものまたは研究室の了解が得られたもののみとします。 【授業の形式】 ・講義とグループワークなどのアクティブラーニングです。 ・所属する研究室の技術・専門性などを活用し、起業を行う場合の思考トレーニングを実社会の最前線で活躍する人材からの経験・知見等を通じて習得する事を目指します。						
(3)授業のキーワード	大学発ベンチャー、技術系ベンチャー（Tech Venture）、起業、ビジネスプランの作成、ピッチコンテスト、ベンチャーファンド、アクティブラーニング						
(4)授業計画	実施計画 集中講義 1 日目（5月13日 水曜）13：30ー17：50 集中講義 2 日目（6月24日 水曜）13：30ー17：50 集中講義 3 日目（8月20日 木曜）13：30ー17：50 集中講義 4 日目（9月10日 木曜）13：30ー17：50						
(5)成績評価の方法	授業に臨む姿勢及びビジネスプラン作成を重視する。						
(6)成績評価の基準	学外から高い評価を得られるレベルにあれば「秀:100-90点」、教員を感心させるレベルにあれば「優:89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、達成目標を満たせば「可:69-60点」、不十分であれば「不可:59点以下」とする。						
(7)事前事後学習の内容	参考書などに目を通すと良い。						
(8)履修上の注意	・グループワークを行うため、履修登録に[30]名の人数制限を設定します ・授業以外にもグループで集まり、ピッチコンテストに向けてビジネスプラン等の議論を行い、資料作成を行う事を求めます。						
(9)質問,相談への対応	・担当教員までメールで問い合わせる						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	【テクニカル面】 ・「起業の科学」（田所雅之/日経BP社） ・「ビジネスロードテスト」（ジョンW・ムリンズ 秦孝昭ほか（訳）/日経BP社） ・「リーンスタートアップ」（エリック・リース 井口耕二（訳）/日経BP） ・「ビジョナリーカンパニー」（ジム・コリンズ 山岡洋一（訳）/日経BP） ・「起業のファイナンス」（磯崎哲也/日本実業出版社）						

【参考書】	【マインド面】 ・「ハードシングス」（ベン・ホロウィッツ 小澤隆生ほか（訳）/日経BP社） ・「ゼロ・トゥ・ワン」（ピーター・ティール ブレイク・マスターズ 瀧本哲史ほか（訳）/NHK出版） ・「不格好経営」（南場智子/日本経済新聞社） ・「凡人企業」（小原聖誉/C C Cメディアハウス）
-------	---